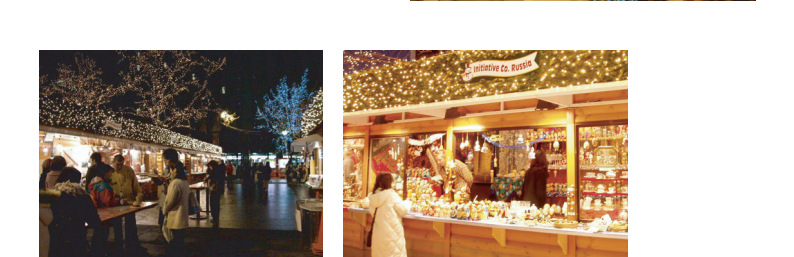




大通・すすきの冬のイベント

ホワイトイルミネーション

12月～1月



ドイツ・ミュンヘンクリスマス市

12月

さっぽろ雪まつり&すすきの氷の祭典

2月



情報ボックス

■中島児童会館（マップ中①）

アメリカ軍の野戦用兵舎の払い下げを受けて、日本初の公立児童会館（児童館）として、1949年（昭和24年）に開館。当初のかまぼこ型兵舎4棟は、1958年に木造モルタル2階建てに、1985年に鉄筋2階建てに替わった。

開館時間：8時45分～18時
休館日：日曜・祝日・年末年始
入館料：無料

いろいろな行事は
大人たちも楽しめます。

土・日・祝日は
人形劇・魔話術・紙芝居など
上演会多し！

■札幌市人形劇場 こぐま座（マップ中②）

公立としては日本で初めての人形劇専門劇場で、1976年7月に誕生。姉妹都市ミュンヘンの人形劇に見入る子供たちの姿が誕生のきっかけとされる。2006年11月、日本人形劇場大賞の「アザレア賞」受賞。

開館時間：9時～17時
休館日：月曜日（月曜日が祝日のときは火曜休館）

■豊平館（マップ中③）

来賓を迎える洋式ホテルとして、鹿鳴館よりも3年早い明治13年に大通に建立。設計は開拓使技師の安達喜幸。安達は棟梁出身で、日米の建築技法を身に付けた技術者だった。1958年（昭和33年）に中島公園に移築された。国・重要文化財。

開館時間：9時～17時
休館日：年末年始
入館料：無料

国の重要文化財で
唯一結婚式を
行っています！

■札幌コンサートホール Kitara（マップ中④）

キタラは、北海道初の音楽専用ホールとして、1997年（平成9年）に開館した。2008席の大ホールと、453席の小ホールがあり、現在の中島公園で最大の建築物。周囲に威圧感を与えないことがこの建物の設計目標にあり、高さを抑えてあるために、遠くからは丘と木に隠れるようになっている。

マメ知識『キタラの前にあったものは？』

キタラ建設の場所には、遊園地『子供の国』が運営されていたが、これは1958年（昭和33年）北海道大博覧会でつくられ、博覧会終了後、札幌振興公社が引き継いでいたもの。都市公園内の遊園地は当時日本唯一。遊園地は1994年（平成6年）、札幌市円山動物園の中に移転。

開館時間：10時～17時30分（公演時は終演時間まで）
休館日：第1・3月曜日

■渡辺淳一文学館

北海道出身の作家、渡辺淳一先生の文学施設。原稿やドラマ台本など貴重な資料の他、図書館・喫茶コーナーも!!

開館時間：9時30分～18時（冬期[10月～2月]は、9時30分～17時30分）
休館日：月曜日

●砂箱を利用しよう！

砂箱には、つるつる路面を滑りにくくする砂が入っています。歩行者のみなさんが自由に利用できるように設置されています。ぜひ活用してください。

砂袋タイプ

ペットボトルタイプ

※ペットボトルの場合は、空き容器を砂箱下段の「空きペットボトル入れ」に入れてください。

■北海道立文学館（マップ中⑦）

石川啄木、有島武郎、小林多喜二、三浦綾子など北海道ゆかりの作家に関する資料22万点を収蔵。その他、小説・詩・短歌・俳句・川柳・アイヌ民族の口承文芸など幅広いジャンルの作品も。1995年（平成7年）開館。

開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休館日：毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は開館）、年末年始（12月29日～1月4日）、その他。

観覧料：常設展／一般 400円、高大生 200円
※小中学生以下、65歳以上無料

■中島体育センター

バドミントン、卓球、バスケットボールやバレーボールなどのコートやトレーニング室など体力づくりの強い味方。

冬には歩くスキーを無料貸出中！

開館時間：9時～21時
休館日：第3月曜日（整備日）・年末年始 ※祝日の場合は第4月曜日
使用料：個人利用 [当日券（時間帯区分別）]、一般 390円、高校生 230円、65歳以上 130円（中学生以下は無料です）

■八窓庵

中島公園日本庭園内にあり、江戸時代初めの茶人大名、小堀遠州が近江國小室城に建てたと伝えられる。1919年（大正8年）に北4西12に移され、1971年（昭和46年）中島公園に移築。2008年完了予定で復元工事中。国・重要文化財。冬期閉鎖。

■札幌市天文台

岡田山という小さな丘の上に建つ小さな天文台。口径20cmの屈折式望遠鏡を備える。年間60日、様々なテーマで天体観測の夜間公開を行なっている。冬期閉鎖。

■札幌護国神社（マップ中⑤）

西南戦争で戦死した屯田兵を祀るため、屯田兵司令部内に作られた。1907年（明治40年）に中島公園内に移転した。当初の名は札幌忠魂社、1922年に札幌招魂社、1939年に札幌護国神社と改称した。1933年（昭和8年）に公園内の現在位置に移転。現在は政教分離の原則により公園と切り離されている。

■彌彦（伊夜日子）神社（マップ中⑥）

本社は新潟の弥彦神社。天之香具山命（あめのかぐやまのみこと）を祀っている。新潟からの移住者により、1911年（明治45年）建立。後、太宰府天満宮より学問の神様・菅原道真公の御分霊を拝戴、「札幌の天神さま」。

■菖蒲池

歴史は明治までさかのぼり、1871年に南側の鴨々中島と呼ばれていた場所に、水面貯木場と水門が設けられた。当時は鈴木元右衛門堀という呼び方をされ、豊平川の上流で伐採された木々が集められていた。1896年にはスケートリンクが造られるようになり、初めは、ホッケーリンク程度と小さかったものが、年々大きくなり、レース用の400メートルリンクが造られるようになった。このリンクは明治33年ころ廃止となった。現在はボート乗り場があり、しばしばボート池と呼ばれる。

菖蒲池や鴨々川では
カモやオシドリなど
水鳥の観察もできる。

■鴨々川

創成川の上流にあたり、豊平川分岐点から創成川までの2.5kmが鴨々川と呼ばれている。名前の由来は京都の鴨川にちなんだなど諸説があり定かでない。散策路から、カモやコイを眺められ、地域の憩いの川となっている。

澄んだ空気と視界の開けた雪景色
…体験してみませんか？

雪に閉ざされ、外出も途絶えがちな冬の北海道。適度なウォーキングは気分転換と健康向上にお勧めです。歩きやすい靴と服装、場所を選んで出かければ、冬みちウォーキングはこわくありません！

※本マップは、元気会、ウォーキングマップサポート隊、曙歩こう会、楽らく会、わが街ウォーキングマップの会のみ皆さんのご協力をいただき作成いたしました。（写真は、ルート検討時の様子）

●雪みちの歩き方

①靴の裏全体を路面につける

つるつる路面では、重心をやや前におき、できるだけ足の裏全体を路面につける気持ちで歩きましょう。

●滑りにくい靴選び

①ピン・金具付きの底

金属製のピンや金具が、固い氷を強く引っかき突き刺します。
注）じゅうたん等の上を歩くと金具が引っかかりつまづいたり、地下街や建物内のタイル等の床では滑りやすい。

②深い溝のある底

グリップ力が強いので滑りにくいです。
注）溝に雪がつまると滑りやすくなる。

②小さな歩幅でそろそろ歩く

滑りそうな道、凍った路面に雪が積もったようなところ、交差点や横断歩道などでは、歩幅を小さくそろそろ歩きをしましょう。

●転びやすい場所

①横断歩道

渡りはじめと終わり部分は、凹凸や段差があり滑りやすくなっています。また、白線の上も薄い氷の膜がでやすいので要注意です。

②ロードヒーティングなどの切れ目

ヒーティング区間のある所とない所や、地下からの出入り口付近では段差が発生しやすく、滑りやすい状態になります。

③タイル貼りの地下街や建物

靴底や靴のアタッチメントに、雪や氷が付いたままで地下街や建物に入ると滑りやすくなるので要注意です。

④バスやタクシーの乗り場

バスやタクシーの乗降場所は、人や車で踏み固められ滑りやすくなります。

つるつる路面には、①や②の靴がオススメですが、様々な路面に有効な③や④の靴も持っていると、冬の暮らしはより快適に！

※あらゆる路面に対応できる万能な靴底はありません。冬靴を用意するのに迷ったときは、お店の人にアドバイスをもらうとよいでしょう!!



冬だって、憩いの場

各施設の詳しい情報は裏面をご参照ください！



中島公園 みどころ 歩きどころ マップ

----- オススメコース
(約1.5キロ<2150歩>・40分)



なかじまじどうかいかん
①中島児童会館：北国ならではの色彩！



さ
②こぐま座：寒さに負けない元気な顔に注目！



ほうへいかん
③豊平館：白銀の中、凛とした姿がとて美しいです。



さっぽろ
きたら
④札幌コンサートホール Kitara：夏は木々に包まれたホールの全貌を楽しもう。



ホワイト
イルミネーション
や雪まつりなど、
イベント時期には、
すすきの・大通まで足
を伸ばすもよし。
(裏表紙参照)



子どもだって、
大人だって、
楽しめます。



昭和モダンブーム建築の名作。

公園は高層ビルに囲まれていて、雪原との
コントラストが不思議な感じます。

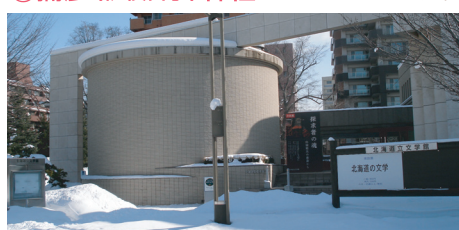
カモの世に、
オシドリも来ています。



さっぽろでこくじんじや
⑤札幌護国神社：季節を問わず静かな佇まい。



いやひこじんじや
⑥彌彦(伊夜日子)神社：朱と白の対比が見事！



ほっかいどうりつぶんかくかん
⑦北海道立文学館：北海道ゆかりの人の作品がいっぱい。

公園の歴史 (参考：さっぽろ文庫2)

明治時代に、中島遊園地(なかじまゆうえんち)として設けられた当初は市街の外にあり、中心市街の一部と見られるようになるのは、戦後になってから。初期の中島公園は、大部分が林のままの、今日でいう自然公園に近かった。

1887年(明治20年)、第10回北海道物産共進会の会場となって以降整備が進み、1958年まで様々な博覧会の会場になった。1990年から1992年には、さっぽろ雪まつりの第4会場となる。

公園の長い歴史の中では、施設の入れ替わりも多く、現在までに廃止あるいは移転となったのは、札幌短期大学(札幌学院大学の前身)、競馬場、スケート場、野球場、プール、体育センター、遊園地、NHKラジオ局、ライオン食堂など。公園分類は「都市公園」で、面積210,416㎡。

